

「わくわく節水実践コンクール」の取組における概要報告

平成27年11月26日
(17) 熊本市立池田小学校

1. 宣言について

①本校の実態

良い点	・節水コマが設置してある。
問題点	・水の出しっぱなしがたまにある。

②目標設定

学級ごとに話し合い、自分たちにできることを「池田小児童環境宣言」として設定した。一人一人の力は小さくても、日々の積み重ねを大切にして、児童数495人の実践を行っていくことを確認した。その中に節水・環境に関する文言も明確に入っている。

③設定目標

	水道量
平成26年度	7,594 m ³
平成27年度 (目標)	7,214 m ³ 以下

本年度は水道量ともに5%減を目標とする。

④環境ISO宣言

池田小じどうの
かんきょうせんげん

あいことば
「みぢかな しげんを たいせつに」

池田小のこどもたちみんながすること
せんせいたちも きょうりょくします。


◎つかわないときは、でんきを けします。
・きょうしつを はなれるときは、でんきを けします。
・テレビなどのコンセントを、つかわないときは、ぬいておきます。

◎みずを たいせつに つかいます。
・ぞうきんは バケツのなかで あらいます。
・はみがきの ときは コップを つかいます。

◎ものは さいごまで だいに つかいます。
・えんぴつや けしごむなどは さいごまで つかいます。
・あまった プリントは うらも つかいます。

◎ごみは わけて だします。
・かみを しげんとして だします。
・もやすごみを へらします。
・ごみは ふくろが いっぱいになったら、だします。

◎しぜんとふれあい、かんきょうについて まなびあいます。



○水を大切に使う。

- ・ぞうきんはバケツの中で洗う。
- ・歯みがきの時はコップを使う。

○自然と触れ合い環境について学び合う。

- ・学年に合わせてできることから学び合う。
- ・学年に合わせて 環境について学び合う。

2 行動について

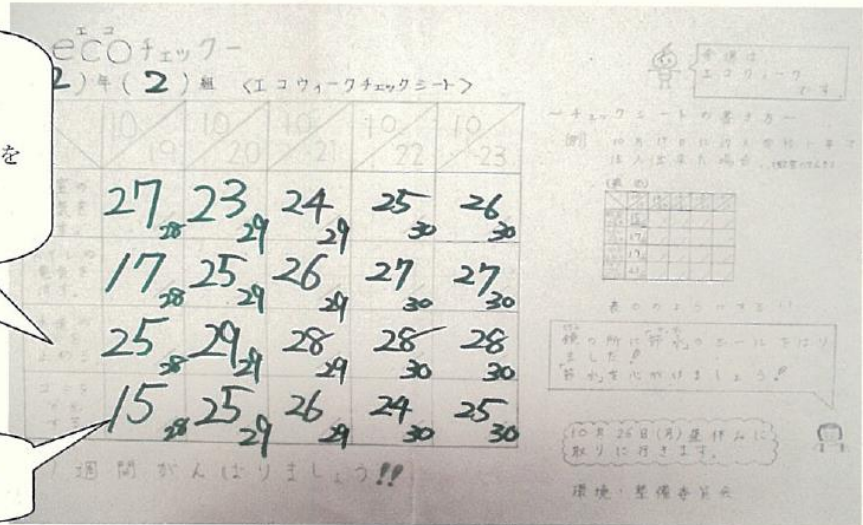
①エコウィークの設定

環境宣言に基づき、エコウィークを設定。クラス目標を達成するべく具体的な行動をとるよう環境整備委員の子どもを中心として学校全体に呼びかけを行った。

水道の水をとめる

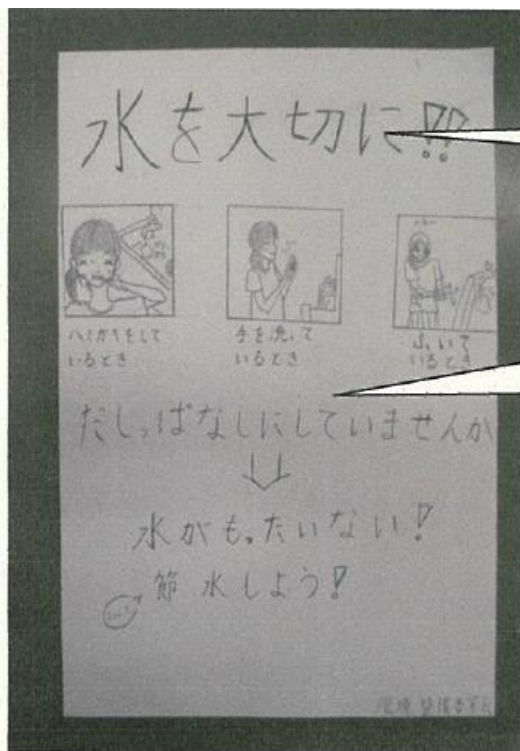
本校の課題である水道に関する項目を設けて意識を高めている。

クラスの人数を記入するようにし、一人ひとりの意識づけを行った。



②委員会による掲示

環境委員の子どもを中心として、節水に関するポスターを作成。学校のいたるところに掲示し学校全体に呼びかけを行っている。



エコウィークの呼びかけポスターを掲示している。

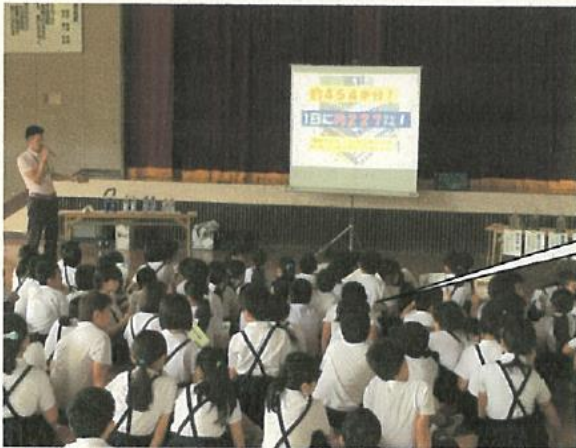
具体的な行動を呼びかける内容を工夫して呼びかけを呼びかけを行っている。

③節水コマの活用～各学級で～

毎回バケツの水の量や歯磨きの、水のみの際の無駄な水を節約するために、節水コマが設置してある。

③ 節水学習～出前授業活用～

出前授業では、身近な水道の水はどのようにして手元に届くのか、また、節水のために毎日少しでもできることなど、様々な面から水に関して学習することができた。



節水ってちょっとした意識で毎日できるんだね！



水っていろんな味があるんだね。
熊本市の水って美味しいんだ！

児童の感想

- ・毎日少しずつできることをやろうと思いました。(私は顔を洗う時の水の出し方に気をつけます。)
- ・きれいな水は無限にあるわけではないと分かり、水道の水は大切に使おうと思いました。

3 記録について

① 環境標語～意識づけ～

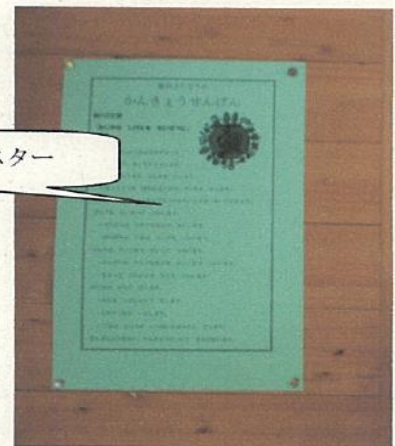
環境コーナーでは、環境に関する啓発ポスターや、節電、節水の方法などの紹介している。各学級で環境標語を考え、全校集会で環境整備委員会の発表で紹介するなど呼びかけを行っている。



各クラスの環境宣言のポスター

各クラスの標語を発表し、節水やなどを呼び掛けている。

きれいにね 水を守ろう大切に



③各クラスのめあての振り返り

エコ目標を元に取り組んできたことを振り返る。(年度末の予定)

◎環境宣言の内容を行動にうつすことができましたか。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◎各クラスのめあてを、行動にうつすことができましたか。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

・結果は集計して、環境コーナーに掲示します。

各学級での取り組みを振り返り
5段階で評価してもらう。

結果は、集計して、環境コーナーで知らせるようにする。

4 見直し(成果と課題)

本年度も、昨年度に引き続き、環境宣言達成のため、一人一人が実践していくことを目標に取り組んできた。それぞれの取組が、児童の意識を高めることに少しずつつながっているように思う。

図1より、数値的には水道量は昨年度を下回っている月が多く、個々人の取り組みや学級、そして、学校全体の取り組みが実を結んでいると言える。※本年度の8月の水使用量が特に多い理由として、台風の影響でプールの水を大幅に入れ替えざるを得なかったためと考えられる。

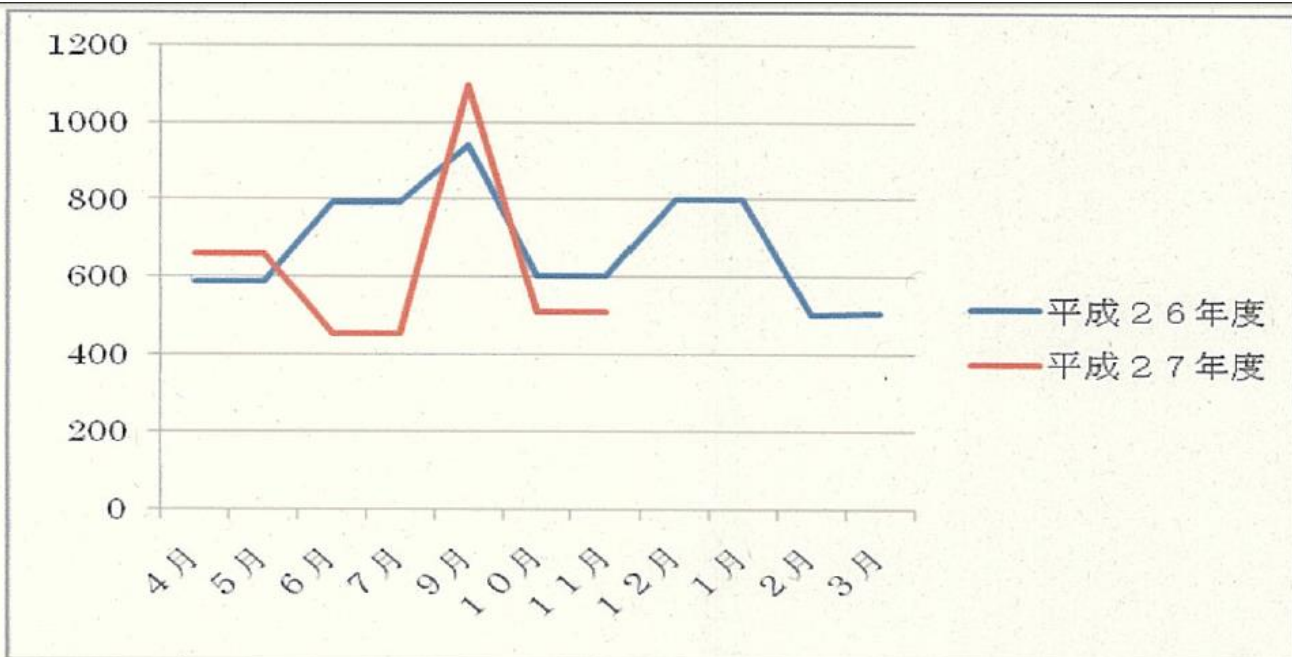


図1 水使用量 (単位m³)

課題としては、エコウィークなど短期的ではなく、継続的に節水の意識と行動をしていくことである。子どもたちが実践を継続していくには、どんな取組が新たにできるのか、今年度の振り返りをもとに考えていきたい。